

シラバス検索システム利用マニュアル

1 Web シラバスについて

Web 上でシラバスの検索・閲覧を行うことができます。

【特徴】※学部／大学院により、取り扱い方法が異なる場合があります。

- ・ 授業で利用される資料を参照することが可能です。

※資料は広く学外に公開される資料と、学内のみに公開される資料があります。

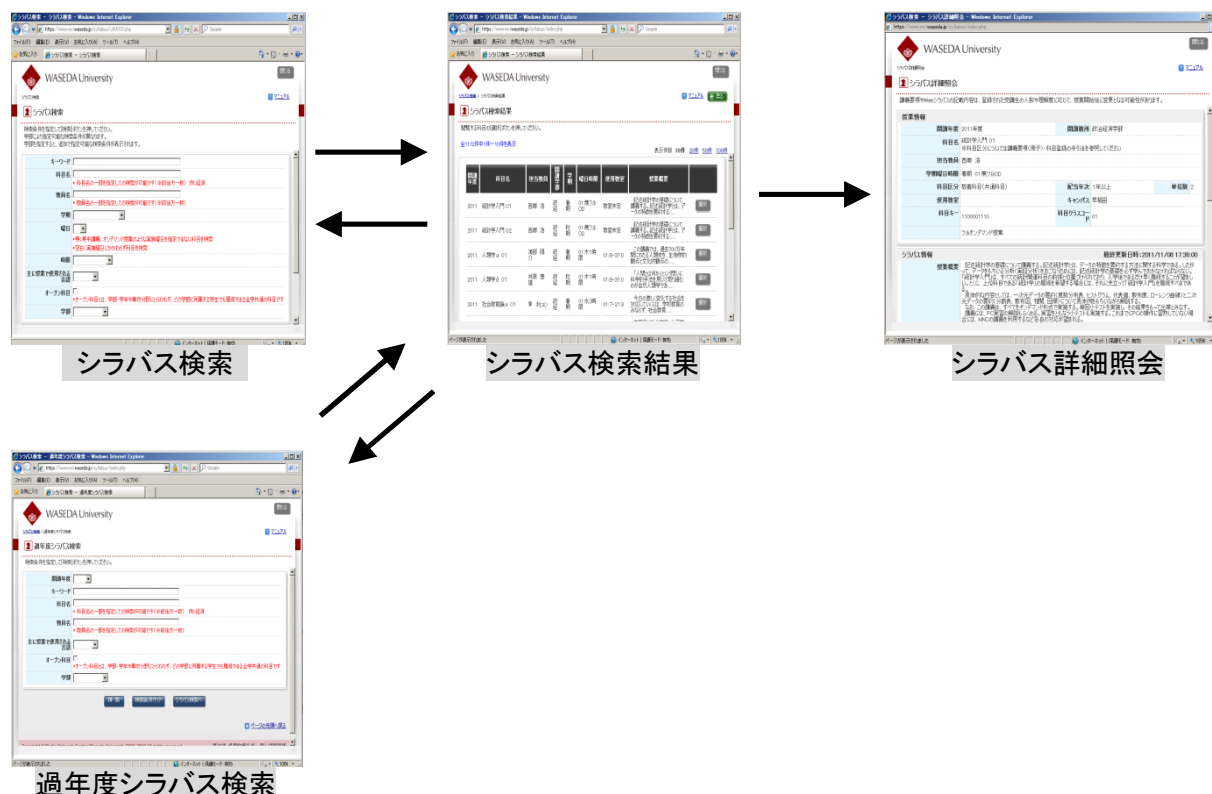
※一部の学部／大学院では、シラバスを授業実施計画として利用し、随時更新を行う場合があります。

【参考】シラバスとは：

授業科目の詳細な授業計画のことをシラバスと言い、一般的には、授業名、担当の教員名、講義の目的、各回ごとの授業内容、成績評価の方法や基準、準備学習についての指示、教科書・参考文献、履修条件などが記載されています。シラバスは、学生に科目選択のための情報を提供する役割のほかに、**授業期間全体を通じた授業の進め方を示すとともに各回の授業に求められる予習についての具体的指示を提供するという役割があり、後者の役割を充実していくことが重視されています。**

(文部科学省 Web サイト (<http://www.mext.go.jp/>) より引用)

2 画面の遷移について



3 画面説明

1) シラバス検索

現在開講中（開講予定）の科目のシラバスを検索する画面です。

シラバス検索

検索条件を指定して[検索]ボタンを押してください。
学部により指定可能な検索条件が異なります。
学部を指定すると、追加で指定可能な検索条件が表示されます。

キーワード	
科目名	 * 科目名の一部を指定しての検索が可能です(※前後方一致) 例:経済
教員名	 * 教員名の一部を指定しての検索が可能です(※前後方一致)
学期	
曜日	 * 無:集中講義、オンデマンド授業のような実施曜日を指定できない科目を検索 * 空白:実施曜日にかかわらず科目を検索
時限	
主に授業で使用する言語	
オープン科目	☐ * オープン科目とは、学部・学年や専攻分野にとらわれず、どの学部にも所属する学生でも履修できる全学共通の科目です
学部	

インターネット | 保護モード: 有効

初期状態で、指定可能な検索条件は以下のとおりです。

- 【キーワード】科目情報（担当教員、曜日時限、使用教室など）を含め、シラバスの全項目が検索対象となります。
- 【科目名】科目名を前後方一致で検索します。
- 【教員名】担当教員名を前方一致で検索します。
- 【学期、曜日、時限】授業が実施される学期、曜日、時限を検索します。
- 【主に授業で使用する言語】授業で使用する言語を検索します。
- 【オープン科目】チェックを入れることでオープン科目を検索します。
- 【学部】科目設置箇所を検索します。また、「確定」ボタンを押すと、検索オプションが設定されている場合は追加で検索可能な項目を表示します。

※ 教員名をフルネームで検索する際は、姓と名の間にスペース（全角・半角どちらでも OK）を入れてください。

検索方法について

「キーワード」「科目名」「教員名」の各項目は、以下に説明する「ワイルドカード検索」「and 検索」「or 検索」「not 検索」に対応しています。

項目	説明	例
ワイルドカード検索	検索語を入力することによって、「検索語を含む項目」を検索できます。	“条件 1” →「条件 1」を含む全ての語がヒットします。
and 検索	複数の検索語を“スペース+and”で区切ることによって、複数の条件に合致する項目を検索できます。	“条件 1 and 条件 2” （“条件 1 条件 2”でも可） →「条件 1」「条件 2」の両方を含む語がヒットします。
or 検索	複数の検索語を“スペース+or”で区切ることによって、複数の条件のいずれかに合致する項目を検索できます。	“条件 1 or 条件 2” →「条件 1」「条件 2」のいずれかを含む語がヒットします。
not 検索	複数の検索語を“スペース+not”で区切ることによって、一方の条件に合致し、かつ他の条件に合致しない項目を検索できます。	“条件 1 not 条件 2” →「条件 1」を含み、かつ「条件 2」を含まない語がヒットします。

① 検索オプション

学部を選択すると、学部ごとに指定された検索オプションが表示される場合があります。この検索オプションを指定することにより、さらに絞り込んだ検索を行うことができます。なお、学部によっては、検索オプションが設定されていない場合があります、この場合は追加で検索項目は表示されません。

学部 オープン教育 ▼

科目カテゴリ ▼

学部を選択すると、学部によって指定された検索オプション（図では「科目カテゴリ」）が表示されます（表示は一例です）。

検索 検索条件クリア 過年度シラバス検索へ

- ② 「検索」ボタンをクリックすると、指定した検索条件にて検索を行い、検索結果一覧画面に遷移します。
- ③ 「検索条件クリア」ボタンをクリックすると、指定した検索条件をクリアします。
- ④ 「過年度シラバス検索へ」ボタンをクリックすると、「過年度シラバス検索」画面に遷移します。
- ⑤ 画面右上の「マニュアル」のリンクをクリックすると、別画面にて本マニュアルを表示します。

2) 過年度シラバス検索

既に講義が終了した科目のシラバスを検索する画面です。
検索可能な年数は学部によって異なります。

シラバス検索 - 過年度シラバス検索 - Windows Internet Explorer

https://www.waseda.jp/syllabus/index.php

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

お気に入り シラバス検索 - 過年度シラバス検索

WASEDA University

シラバス検索 > 過年度シラバス検索

マニュアル

閉じる

過年度シラバス検索

検索条件を指定して[検索]ボタンを押してください。

開講年度

キーワード

科目名

* 科目名の一部を指定しての検索が可能です(※前後方一致) 例:経済

教員名

* 教員名の一部を指定しての検索が可能です(※前後方一致)

主に授業で使用する言語

オープン科目 ☐

* オープン科目とは、学部・学年や専攻分野にとらわれず、どの学部にも所属する学生でも履修できる全学共通の科目です

学部

検索 検索条件クリア シラバス検索へ

ページの先頭へ戻る

ページが表示されました

インターネット | 保護モード: 有効

- ① 「検索」ボタンをクリックすると、指定した検索条件にて検索を行い、検索結果一覧画面に遷移します。
- ② 「検索条件クリア」ボタンをクリックすると、指定した検索条件をクリアします。
- ③ 「シラバス検索へ」ボタンをクリックすると、「シラバス検索」画面に遷移します。
- ④ 画面右上の「マニュアル」のリンクをクリックすると、別画面にて本マニュアルを表示します。

3) シラバス検索結果

検索条件に合致する科目の一覧を表示する画面です。

 **シラバス検索結果**

閲覧する科目の[選択]ボタンを押してください。

全1112件中1件～10件を表示

表示件数 **10件** 20件 50件 100件

開講年度	科目名	担当教員	開講学部	学期	曜日時限	使用教室	授業概要	
2011	統計学入門 01		政経	春期	01無フルOD	教室未定	記述統計学の基礎について講義する。記述統計学とは、データの特徴を要約する……	選択
2011	統計学入門 02		政経	秋期	01無フルOD	教室未定	記述統計学の基礎について講義する。記述統計学とは、データの特徴を要約する……	選択
2011	人類学α 01		政経	春期	01木1時限	01:8-310	この講義では、過去700万年間にわたる人類史を、生物学的観点と文化的観点の……	選択
2011	人類学β 01		政経	秋期	01木1時限	01:8-310	「人間とは何か」という問いに科学的手法を用いて取り組むのが自然人類学である……	選択
2011	社会教育論α 01		政経	春期	01水3時限	01:7-219	今日の激しく変化する社会を対応していくには、学校教育のみならず、社会教育……	選択
2011	社会教育論β 01		政経	秋期	01水3時限	01:7-219	本講義は社会教育・生涯学習の基礎的知識の理解と習得を目標とする……	選択

- ① 該当する科目の「選択」ボタンをクリックすると、「シラバス詳細照会」画面に遷移します。
- ② 「戻る」ボタンをクリックすると、「シラバス検索」画面に遷移します。

4) シラバス詳細照会

選択した科目の詳細内容を表示する画面です。

 **シラバス詳細照会**

講義要項やWebシラバスの記載内容は、登録された受講生の人数や理解度に応じて、授業開始前後に変更となる可能性があります。

授業情報			
開講年度	2011年度	開講箇所	政治経済学部
科目名	人類学α 01 ※科目区分については講義要項(冊子)・科目登録の手引きを参照してください		
担当教員			
学期曜日時限	春期 01木1時限		
科目区分	教養科目(共通科目)	配当年次	1年以上
使用教室	01:8-310	キャンパス	早稲田
科目キー	1100001121	科目クラスコード	01
単位数 2			

シラバス情報		最終更新日時: 2011/03/08 11:31:59
授業概要	この講義では、過去700万年間にわたる人類史を、生物学的観点と文化的観点の両面から見ていく。以下の3つのポイントのうち特に3番目に焦点を当て、かつて祖先を共有していた人類が、どのような歴史を経て生物学的・文化的に多様化した、現在に至ったかを考える。 (1) 生物進化の概念。生物の進化がどのように起こるのかを理解する。生物と機械の“進化”は何か違うのか、“高等”な生物は“下等”な生物より優れているのかといった疑問に答えられるようになる。 (2) 人類の進化史。類人猿から現生人類に至るまでの進化の道筋を理解し、猿人、原人、旧人とはそれぞれ、いつどこにいたどのような人類であったかを学ぶ。 (3) 現生人類(ホモ・サピエンス)の進化史。現生人類つまり我々がアフリカで進化し、世界各地へ広がって現在に至るまでの歴史を概観する。合わせて人種や民族といった概念について学び、さらに世界の地域文化がなぜ、どのように多様化したかを考える。 インドネシアのフローレス島で発見された“ホビート”、南アフリカで発見された世界最古のアキラサリーなど、遺跡発掘による新しい発見や既存の標本研究の進展により、私たちの人類史への理解は日進月歩に改定され続けている。講義では、最新の情報をわかりやすく解説する。 αとβは続けて履修のこと。	
授業の到達目標	生物進化、人類の進化史、ヒトの生物学的特徴や“人種”の概念等について基礎事項を学び、自分で説明できるようになる。	
授業計画	第1回: 人類学序論 第2回: 生物の進化	

以上